

# 「CSR&コンプライアンス研究フォーラム」ニュース 36

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会  
〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階  
TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180  
E-Mail [csm-hq@eco-texj.co.jp](mailto:csm-hq@eco-texj.co.jp)  
HP：<http://www.eco-texj.co.jp>

2008年  
3月4日発行

向春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

研究フォーラム・ニュース 36号を配信させていただきます。

なお、末尾に4月16日水曜・第6回「CSR&コンプライアンス国際フォーラム2008」のご案内も掲載してありますのでご一読ください。

## 1. 1月17日第31回フォーラムセミナー開催されました。

### <アパレル製品リサイクルについての講演>

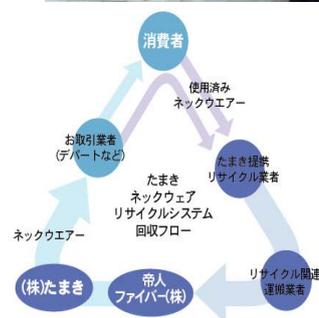
「アパレル・リサイクルの現状と方向」と題し、ファイバーリサイクル研究会・代表幹事 木田 豊氏にご講演をいただきました。

はじめに、地球温暖化によるものかと思われるご自宅の季節外れの花咲きから、2007年の漢字「偽」など最近の話題に触れながら、アパレル・リサイクルの現状と今後の方向への話に入りました。

アパレル・リサイクルを遅らせている間違っただ認識、誤解として①衣服のリサイクルは家庭で昔から出来ている ②量的には少ない ③自分たちの責任では無い ④PETボトルのリサイクルの4つをあげ、量は年間100万tを超えて家電4品種廃棄量より多く（重量）、またPETボトルのリサイクルはアパレル製品のリサイクルではないことなどの正しい認識と、個人も企業も積極的な取組みが出来ていないことを指摘されました。また日本のアパレル製品が海外、特に欧米の環境リサイクル問題に取り組む地域への輸出進出が家電製品に比べはるかに少ないことも一因になっていることも触れられました。

リサイクルとして集められた衣服のリユース・リサイクル率は10%であり、大半は焼却されているのが現状。リサイクルし易い製品といえどもファッション的にも満足できる商品でなくてはならず、感性面だけでなく環境面も啓発できる人材教育が必要であり、少ないながらも先例もあって、アパレル製品のリサイクルアップも不可能ではないとされた。

先進的事例紹介としてアパレル産業協会のリサイクル研究委員会発足とエコマーク、ユニフォーム業界、完全リサイクルのエコネクタイ（写真）の取り組みなどあげ、最後にパタゴニア社の「出来ることからはじめよう」を手本にまず自分たちでできることからやってみることとし、ご自身の名刺用紙やマイ箸の話で締めくくっていただきました。



## <<CSR 関連情報>>

2007年6月にEUで施行されたREACH以降の、関連情報誌での特集の様子、社会的責任に関するガイドラインとしてのISO26000が2009年11月発行を目標にマルチ対話による策定が進められている情報、2007年10月改正雇用法での外国人雇用状況報告義務、などの記事内容について掲載誌名とともに報告されました。

## <CSM2000 構築「安全衛生・健康分野」について>

安全衛生・健康分野について解説を進め、今回でこの分野を終え、次回からは社会的責任分野、品質分野へ作成解説を進める予定であることが事務局より説明されました。

### 2. 第6回理事会・総会が2008年2月21日開催されました。

午後4時よりご出席の皆様から近況などご挨拶をいただいた後、安江副会長（ダイドーリミテッド副社長）が議長に選任され開会されました。

事務局より会則に基づき出席者及び議長委任状にて会成立のための定足数に達していることが報告され、安江議長により事業報告等の五議案の審議がすすめられ、全ての議案が承認されました。

議長の指名により清水二郎顧問からスピーチをいただいた後、午後5時半に議長より閉会が宣言されました。

閉会后、引き続きご出席者全員により懇親会が開催され親交を深めていただきました。

### 3. 2008年度の初頭の活動、行事予定について

#### ① 第6回「CSR&コンプライアンス国際フォーラム2008」

2008年4月16日水曜 13:30~17:15 (終了後懇親会予定)

場所 江戸東京博物館会議室

プログラム

#### 1. 挨拶

CSR & コンプライアンス研究フォーラム会長  
法政大学大学院教授 岡本 義行氏

#### 2. 「世界に於けるCSR活動の最新事例」

講師: 3-P Consortium  
CEO Willie Beuth 氏

#### 3. 「CSR 調達の現状」

講師: 法政大学大学院  
CSR研究センター 客員研究員

#### 4. 「イオン(株)におけるCSR 調達」

講師: イオン株式会社 環境・社会貢献部  
イオンサプライヤーCoC 事務局長 西面 和巳 氏

#### 5. 「エドウィン・ブランド構築における調達・生産戦略」

講師: 株式会社 エドウィン商事  
専務取締役 小林 道和 氏

(詳細は別途ご案内差し上げます)

- ② 第32回標準研究フォーラム 5月22日(木曜) 予定
- ③ 第33回標準研究フォーラム 7月10日(木曜) 予定

以上